

県立広島病院におけるHIV診療の現状

-薬剤師の視点から-

令和4年度第2回中国・四国エイズブロック治療拠点病院等連絡協議会
R4.9.7 県立広島病院薬剤科 西 勇治

県立広島病院の概要



病床数：712床(一般662床, 精神50床)

診療科数：35科

1日平均入院患者数：482.9人

1日平均外来患者数：996.6人

平均在院日数：10.2日

平均処方箋枚数：外来66枚/日

入院390枚/日

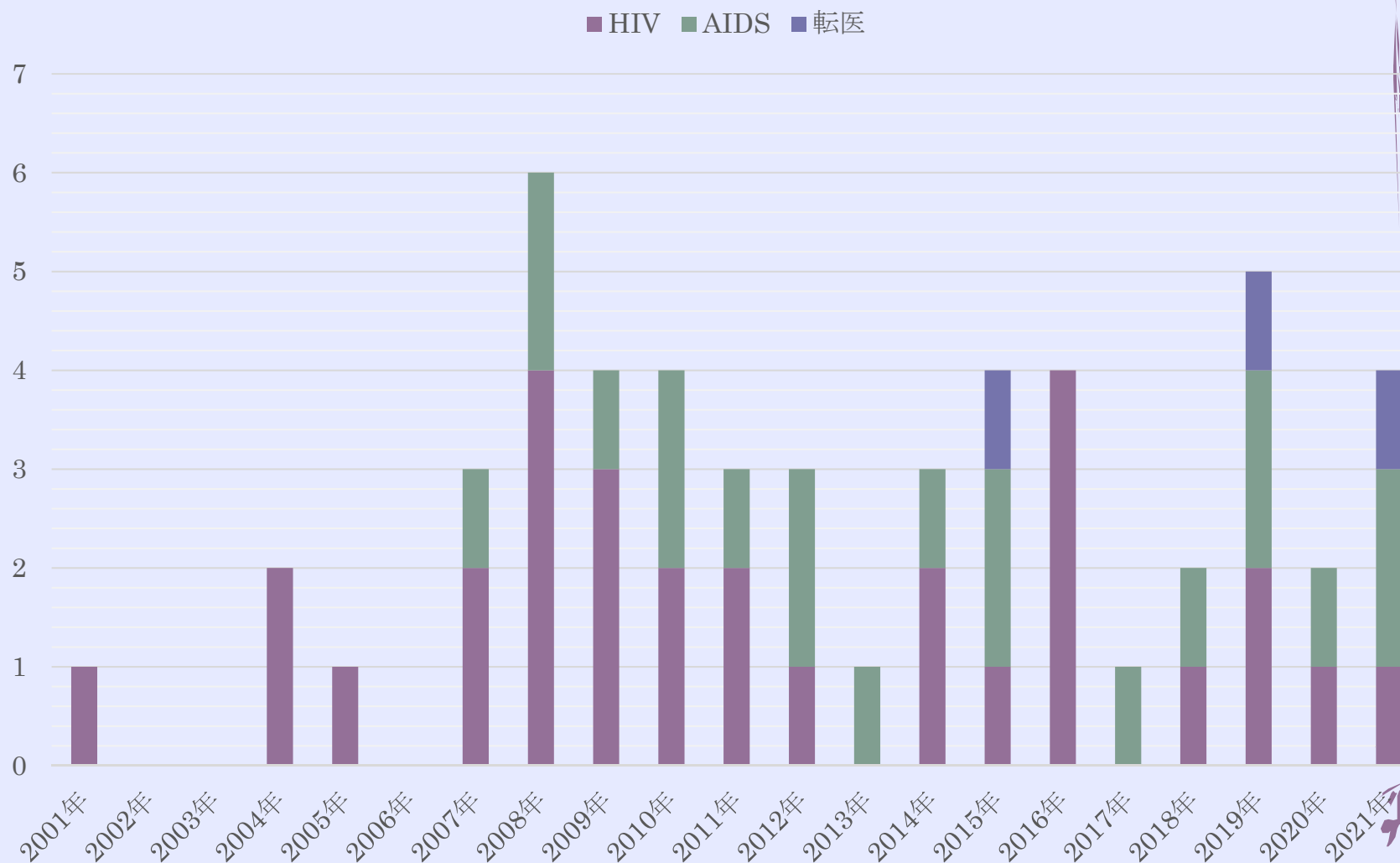
院外処方箋発行率87%



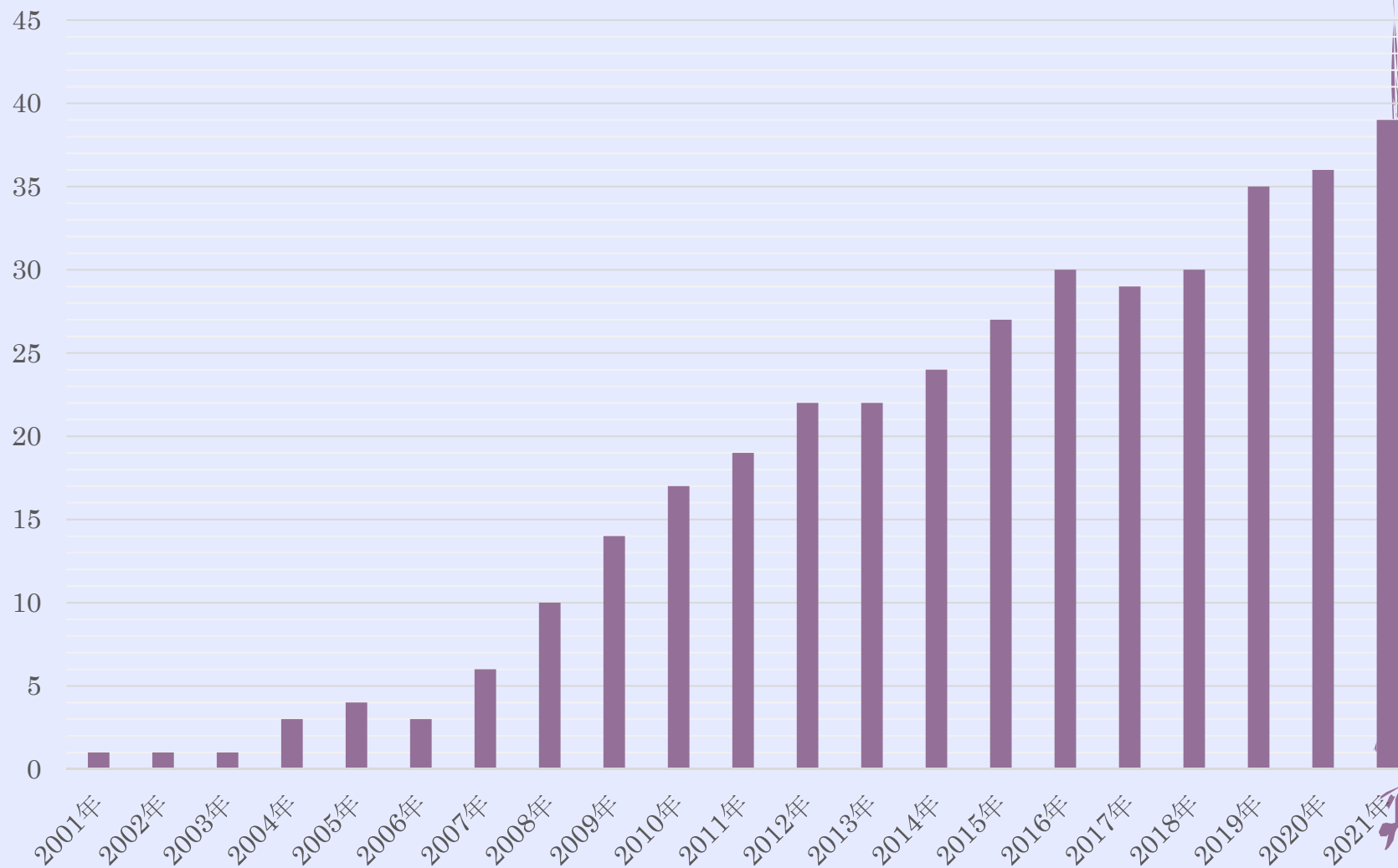
当院のHIV診療チームの構成

- ◆ 医師：5名
- ◆ 薬剤師：2名
- ◆ 看護師：4名
- ◆ 医療ソーシャルワーカー：1名
- ◆ 臨床心理士：1名

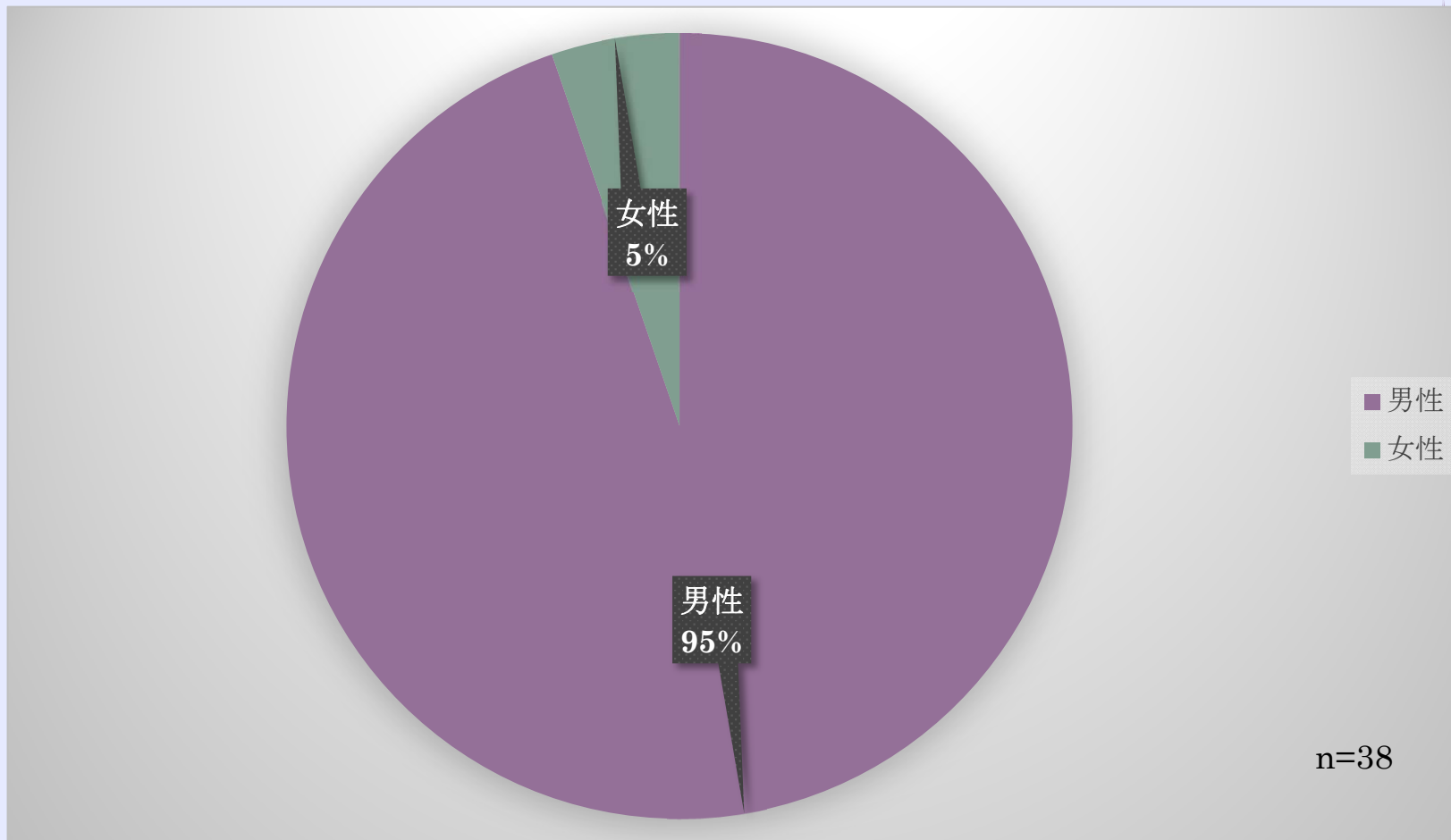
新規患者数の推移



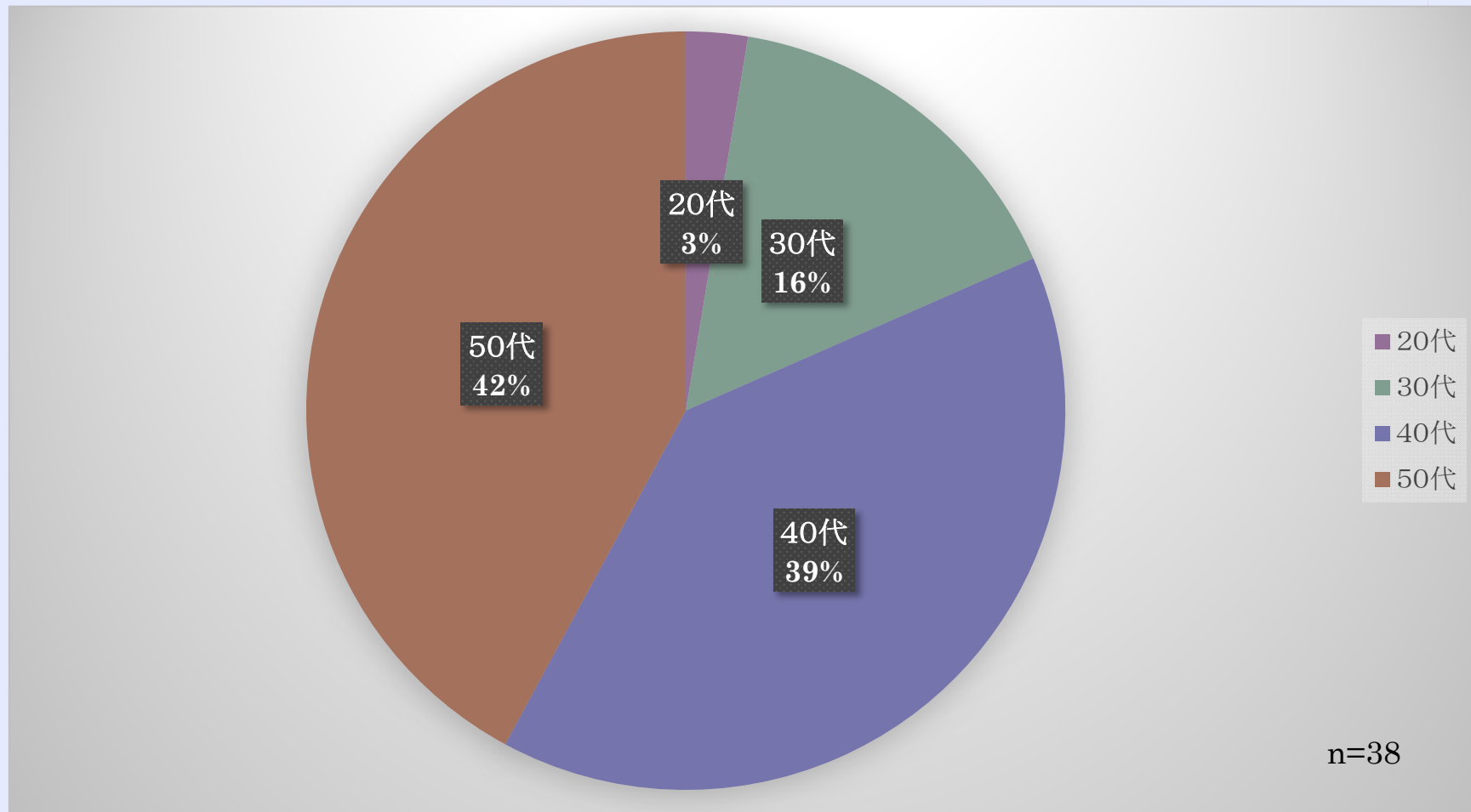
通院患者数



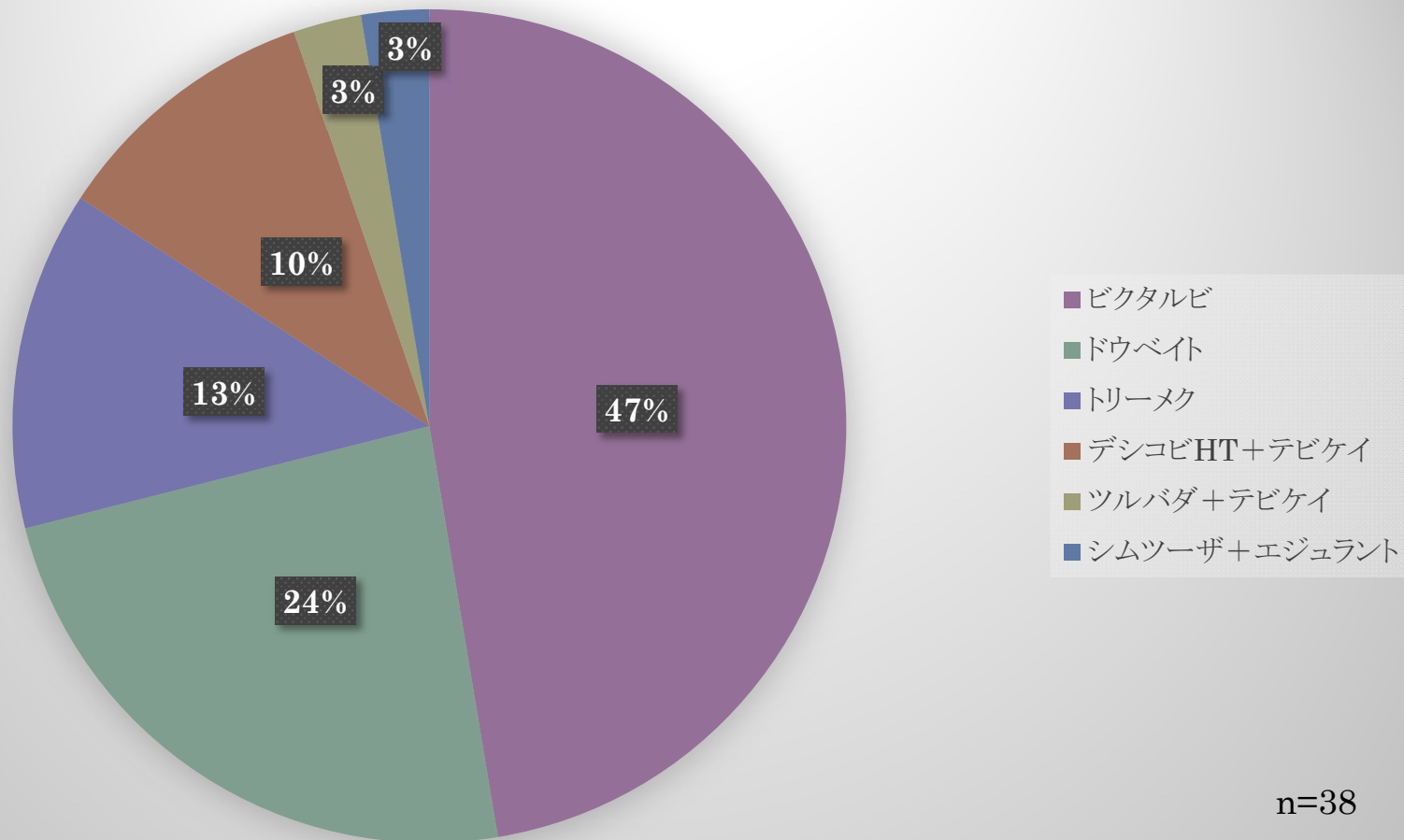
性別



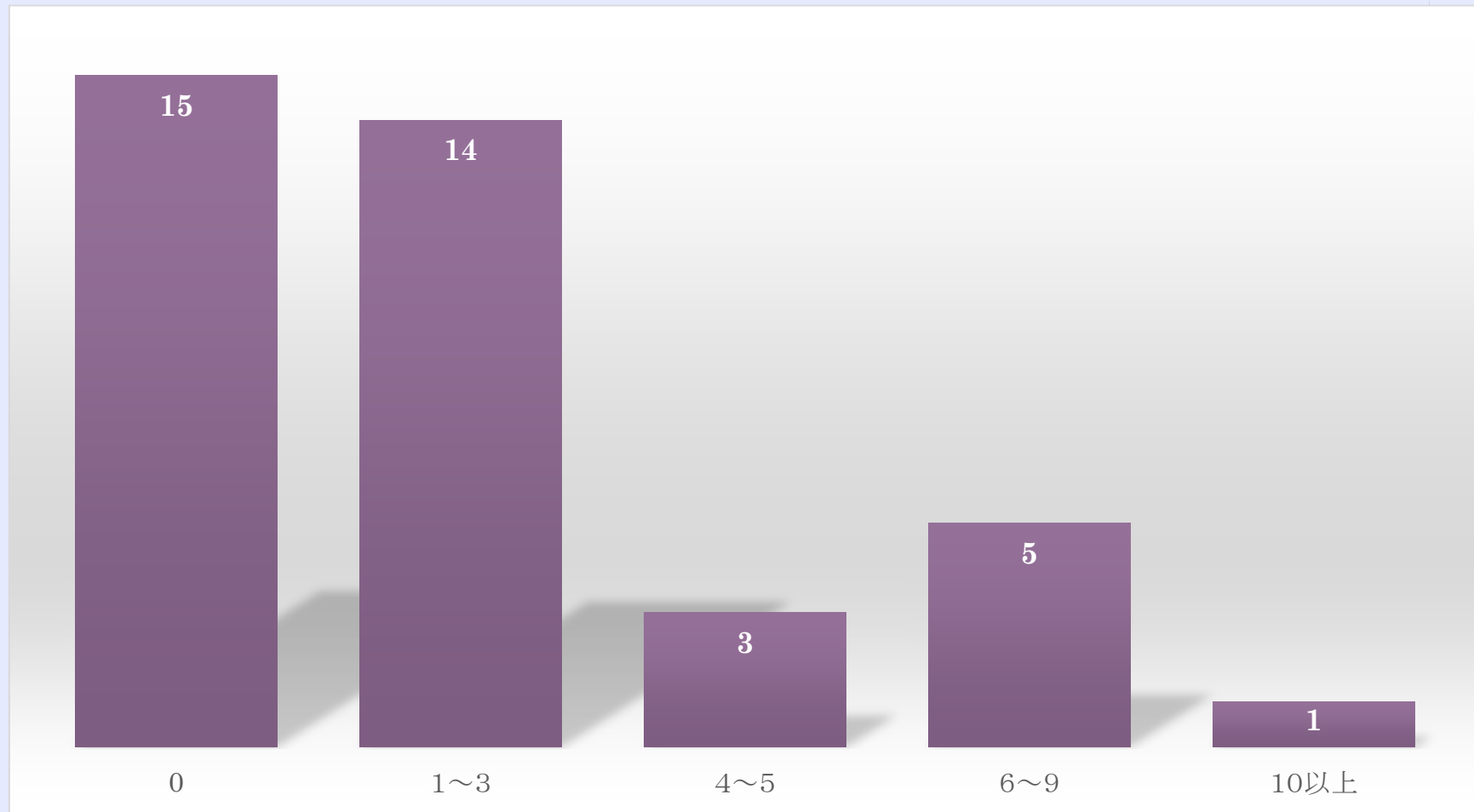
年齢



使用レジメン

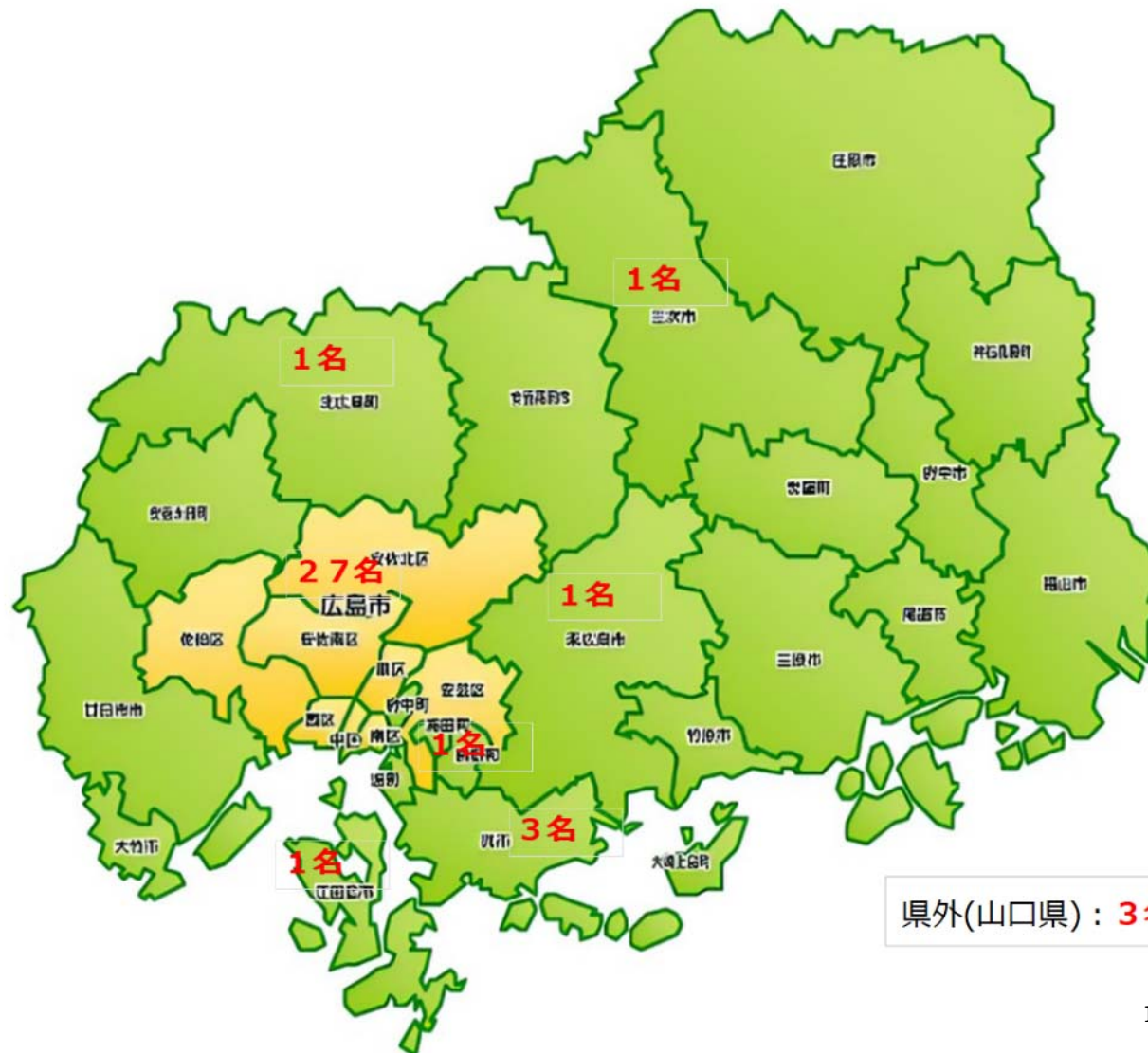


併用薬剤数



n=38

通院圏

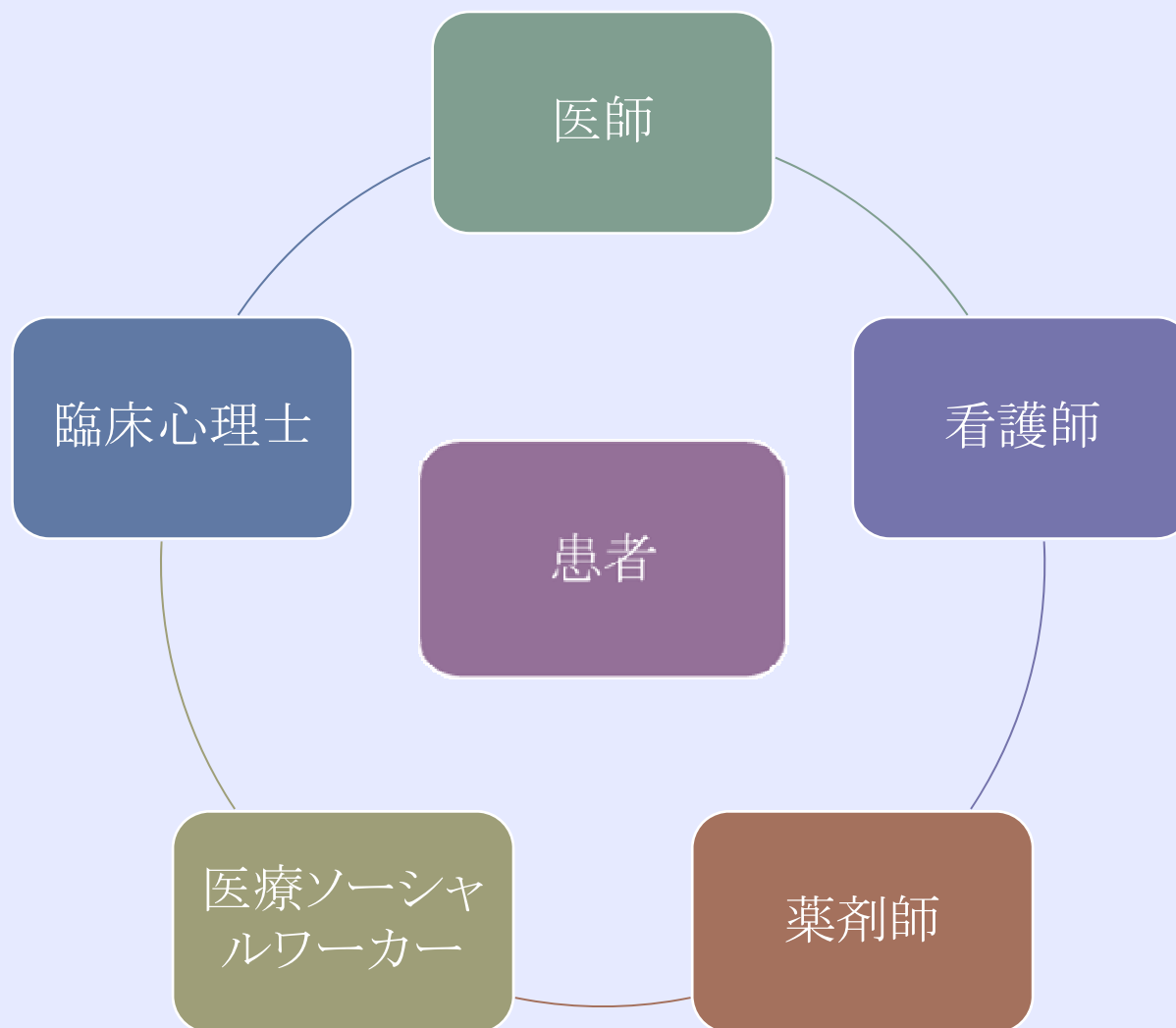


n=38

当院の患者の特徴

- ◆ 比較的若年層の患者が多いが、やはり徐々に高齢化の傾向にある
- ◆ 肝・腎機能障害患者が少ない
- ◆ 市内からの通院が多い
- ◆ 最近ではAIDS発症で診断された方が多い

抗HIV薬導入まで



薬剤師の関わり

◆ 服薬指導

◆ 保険薬局との連携

初回服薬指導

- ◆ 服薬アドヒアランスの重要性
- ◆ 副作用
- ◆ 併用薬の確認（サプリメント等も含む）
- ◆ ライフスタイルの確認etc…

レジメン選択

大部分のHIV感染者に推奨される組み合わせ

INSTI

BIC/TAF/FTC (AI)

DTG/ABC^{*1}/3TC^{*2} (AI)

DTG + TAF/FTC (HT) (AI)

DTG/3TC^{*3} (BI)

レジメン選択

- ビクタルビ(BIC/TAF/FTC)



- トリーメク (ABC/3TC/DTG)



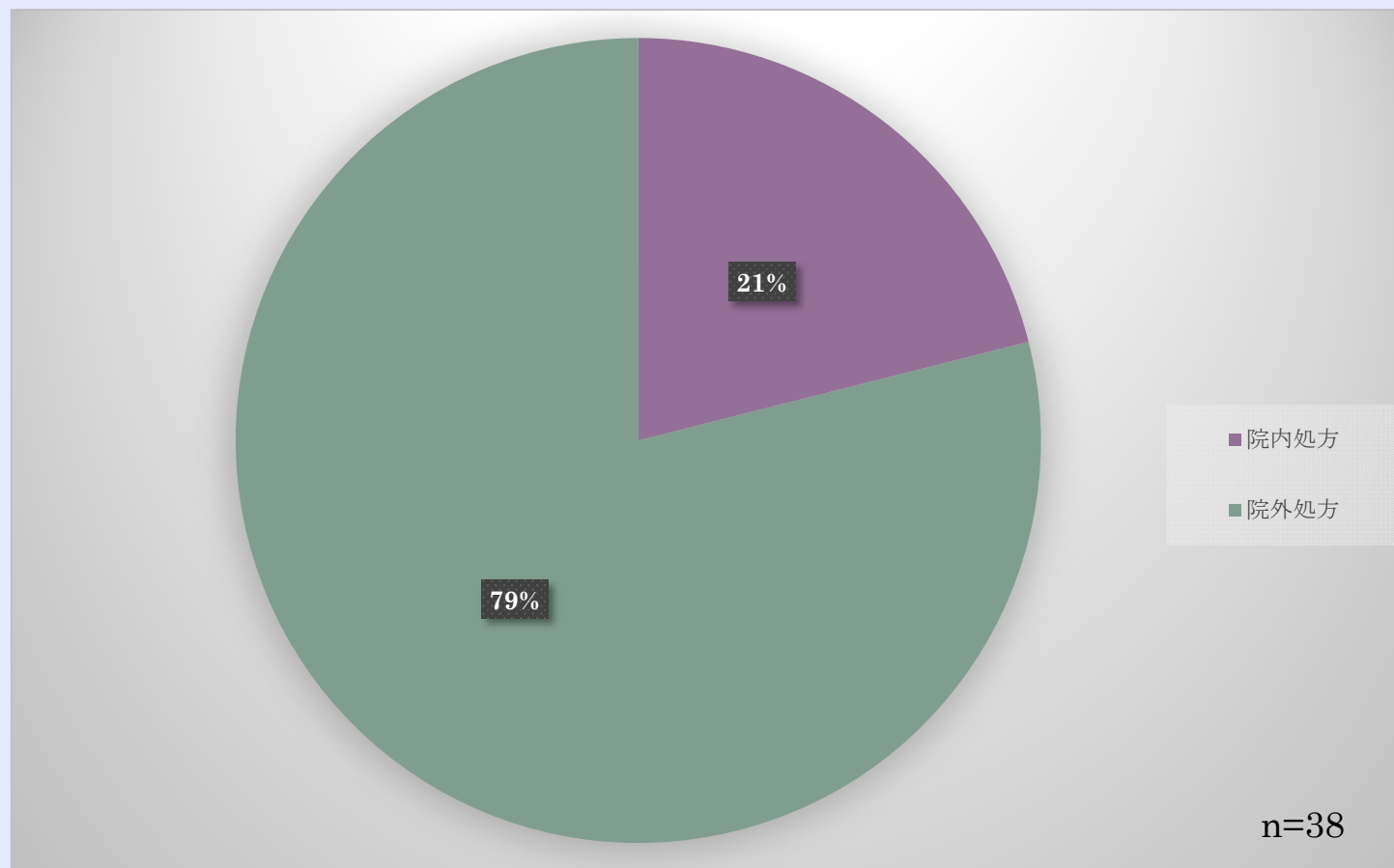
- ドウベイト (3TC/DTG)



- デシコビHT+テビケイ (TAF/FTC+DTG)



院外処方箋発行率



抗HIV薬を院外処方にする時の問題

- ◆ 在庫などの薬品管理の問題
抗HIV薬は高額で、ボトル製剤
種類が多く、急に処方された場合在庫が
ない
- ◆ 患者対応やプライバシーの問題
個室が整備されていない
説明や呼び出しに十分な配慮が必要

在庫管理の問題について①

- ◆ 安定した患者さんからお願いする
→ビクタルビ、トリーメク、
デシコビHT+テビケイ、ドウベイト
などの推奨レジメンがほとんど
- ◆ ボトル単位での処方をお願いするため、
万が一中止・変更になった場合でも未開
封であれば基本的に卸へ返却が可能

在庫管理の問題について②

- ◆ 基本的に、予備として数日分以上は持つておいて頂いているので、在庫がない場合でも待ってもらえる事は可能
- ◆ 初回では、事前にどのレジメンの患者がいつくるか、どれくらいの日数分が通常処方されるかなどは情報提供を行う

プライバシーの問題について①

- ◆ 患者対応の仕方や個室がないなどについては、HIV感染症に限らず他の疾患でも同じ
- ◆ 過剰な対応は逆効果にもなりかねず、通常の対応で問題ない
- ◆ ただし、中には名前を呼ばれたくない、「HIV」関連の単語を嫌がる患者もいる

プライバシーの問題について②

- ◆ 中には家族にも話しておらず、病気自体を知られたくない、という方がおられるため郵送などの手段をとってよいかの確認が必要
- ◆ 名前と医薬品の名称が入った情報提供書などを拒む患者さんも少なくない

保険薬局への情報提供

- ◆ 先ほどのプライバシーの面でお話しさせてもらった内容などの患者背景も含めた情報提供書を作成し、実際に薬局へ訪問して情報提供を行う

→顔の見える関係を作ることで
今後の情報共有がよりスムーズに

最後に

薬剤師として、今回お話しした事以外にも何か出来るかを常に考えながら診療に携わっていきたいと考えています。

ブロック拠点病院の1つとして、患者さんのニーズに沿ったより良い医療を提供できるように、チームで取り組んでいきたいと思えます。

ご清聴ありがとうございました